hap·py → go → luck·y

【ハッピー・ゴー・ラッキー】

形 〈人の行動が〉のんきな、気楽な。

名 10代におくるブックガイド。

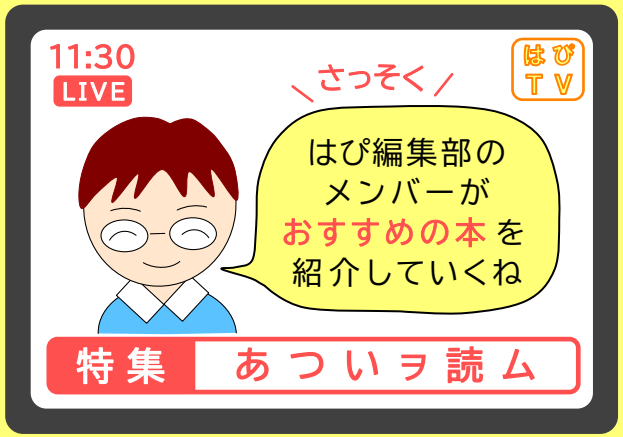
はぴ66号

２０２５年７月発行
【編集】はぴ編集委員会
【発行】さいたま市立中央図書館
浦和区東高砂町１１-１
TEL　048-871-2100
FAX　048-884-5500
https://www.lib.city.saitama.jp/

読み取りはコチラ

毎月23日は さいたま市子ども読書の日

＼毎日暑いですね～／



『バッタを倒しにアフリカへ』

前野ウルド浩太郎／作　光文社新書　2017年

大好きなバッタを触りすぎてバッタアレルギーを発症。そんな著者が研究のため飛んだ先は、アフリカのモーリタニアだった。サバクトビバッタの大群による農業被害を解決し、昆虫学者としての実績を積むことはできるのか。

異国の地での悪戦苦闘や、憧れを追い続ける楽しさと厳しさを、ユーモアあふれる文章でつづる滞在記。暑い砂漠の国で思う存分研究に打ち込む、著者の熱い姿に注目！

瀬尾まいこ『あと少し、もう少し』（新潮文庫刊）　2015年

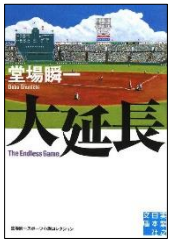
中学最後の駅伝大会に挑むため、陸上部部長の桝井はメンバー集めをはじめる。名物顧問の代わりにやってきた陸上を知らない顧問は頼りにならない。それでも、顧問と寄せ集めの6人は県大会出場を目指し走り出す。

駅伝の6区画、各区を走るメンバーの目線で物語はすすむ。みんな心に何かを抱え、強く熱い気持ちで走り、仲間の元へ襷をつないでいく。自分も何かに挑戦したくなる一冊。

おすすめポイント

甲子園の熱気、野球にかける気持ちの熱さがすごい！
魂をぶつけあう青春スポーツ小説

『大延長』　堂場瞬一／作　実業之日本社文庫　2011年



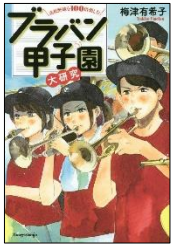
夏の甲子園決勝戦が延長15回の末、再試合になった。甲子園初出場の公立校新潟海浜と私立強豪の恒正学園の戦い。両チームの監督は大学時代のバッテリーで、エースの選手も元チームメイト同士という手の内を知った仲。

各々の登場人物が野球にかけてきた熱い想いも加わり、暑い夏に手に汗握る熱く長い激闘は読み応え十分。

高校野球は応援席も熱い

『ブラバン甲子園大研究　高校野球を100倍楽しむ』

梅津有希子／作　文藝春秋　2016年



ブラバン応援に注目し、アルプススタンドでの基本ルールや暑さ対策のほか、得点やヒット時の曲「ファンファーレ」や逆転の魔曲「ジョックロック」など、定番曲の楽譜付き解説もあって盛り沢山。埼玉県の高校もいくつか紹介されていて、野球をあまり知らなくても高校野球観戦が楽しめるようになる一冊。

暑さ対策も忘れずに

『猛暑対策BOOK　日本のヤバい夏を最新科学の力で乗り切る！』

藤井直人／作　小学館　2024年

最近、夏の暑さがヤバい！　暑さにカラダを慣らす「暑熱順化」の方法、猛暑対策グッズの正直レビューなどのお役立ち情報が、イラストと共に満載。運動時の対策もあり、夏にスポーツをする人にもおすすめ。

おすすめポイント

夢を追い続ける姿が熱い！
はぴ世代にぜひ読んでほしい一冊

おすすめポイント

駅伝を走る熱い想いがあふれすぎててよいです

おすすめポイント

ふたりの女の子の友情がまぶしい！主人公を見守る図書館の人たちもあたたかくて沁みます

『しずかな魔女』　市川朔久子／作　岩崎書店　2019年

学校に行けなくなってしまった中学生の草子は、火曜日から金曜日まで図書館に通っている。〈「しずかな子は、魔女に向いてる」という文章の出てくる本を探しています〉草子ははじめて図書館のカウンターでレファレンスの依頼をした。渡されたのはふたりの少女の夏休みの物語だった。降りそそぐセミの声、色とりどりの花火、照りつける太陽。やりたいことが詰まっている夢と希望の物語。

『しずかな魔女』に出てくるレファレンスってなあに？

『100万回死んだねこ　覚え違いタイトル集』

福井県立図書館／編著　講談社　2021年

男の子の名前で『なんとかのカバン』って本あるかしら？
『ハリー・ポッターとアズカバンの囚人』でしょうか。

図書館はお探しの本や情報を見つけるお手伝いであるレファレンスサービスを行っています。おしい覚え違いから、正しいタイトルがよくわかったなと思う「アクロバティックな」覚え違いまで、厳選した事例をかわいいイラスト入りで掲載。レファレンスをもっとアピールしたい！という熱意でまとめられた一冊で、図書館員の熱い仕事ぶりも紹介されています。

芸術×熱い

『自分の中に毒を持て　あなたは“常識人間”を捨てられるか』

岡本太郎／作　青春文庫　2017年　新装版

「夢を見ることは青春の特権だ」「いのちを賭けて運命と対決するのだ」「きれいになんて生きてはいけない」……。時代を超えて私たちに刺さる、芸術家・岡本太郎の熱いメッセージ。

『シュヴァル　夢の宮殿をたてた郵便配達夫』

岡谷公二／作　山根秀信／絵　福音館書店　2016年

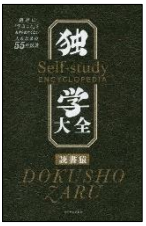
道端の石をあつめて、空想の宮殿をたてる。そんな途方もない夢にたったひとりで挑んだ郵便配達夫・シュヴァルの、33年にわたる熱い実話。圧倒的な存在感を誇る夢の宮殿の写真も掲載。

＼夏休みは／ 厚い本にもチャレンジ！

1冊で786ページ

『独学大全　絶対に「学ぶこと」をあきらめたくない人のための55の技法』

読書猿／作　ダイヤモンド社　2020年



やる気が出ない、時間が足りない、ノート作りのコツが知りたい……。そんな悩みに応える「独学」の百科事典。勉強でも趣味でも一生役立つ技法が満載。気になる項目だけ読んでもOK！

全6冊で3199ページ

宮部みゆき『ソロモンの偽証』（新潮文庫刊）2014年

転落死した中学生。彼は自殺か、同級生による他殺か。クラスメイトの死の真相を明らかにするため、中学3年有志による「学校内裁判」が始まる。

おすすめポイント

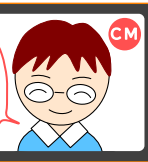
分厚いけれど続きが気になって一気に読んでしまう。夏休みに読破しよう！

次回のはぴは2025年11月発行

テーマは・・・感覚

etc.

一部書影画像はBOOKデータASPから引用しています。
このブックガイドは1400部作成し、1部当たりの作成費用は6円（概算）です。

おたより大募集

「さいたま市図書館はぴ」で検索！「はぴおた」のコーナーから送ってね